

市民団体、事業者の枠を超えて共に！



環境活動団体交流会を開催

6月19日(木) サプリ村野で ひらかた環境ネットワーク会議団体会員を中心に「団体交流会」を開催しました。

今回、第1回目となるこの会は、環境活動団体にご参集いただき、意見交流を通して「それぞれの団体が持つ“財産”を活用し合える状況を作り、枚方の環境施策推進に取り組んでいくことへの理解を図る」ことを目的としています。

初回は15団体の代表の方々が参加してくださいました。顔合わせが主な内容となりましたが、市民団体、事業者など様々な団体が会する場となり、第2回、第3回へと期待が膨らみました。(2,3ページに関連記事)

目次

環境活動団体 第1回交流会	2
理事会・総会の報告	4
環境ディベート!	5
部会の活動紹介	6
お知らせコーナー	7
団体紹介(京セラミタ株)	8

環境活動団体 第1回交流会

主な内容は、地球温暖化問題についてのお話（環境省近畿地方環境事務所環境対策課 東野勉課長）、団体自己紹介、意見交流会「枚方での地球温暖化対策について」となりました。

洞爺湖サミット開催を目前にし、サミットの概要を東野氏からお話いただいた上で、枚方での地球温暖化対策をどう進めていくべきか、市民団体、事業者の枠を超えて考え、お互いが持つ“財産”を活用し合い、実現に向かって歩みを進めていく...それが私たちの願いであり目指すところです。



環境省東野氏のお話

参加団体による団体自己紹介



初回は、団体会員同士の初めての顔合わせの場ということもあり、他団体の活動紹介に興味深く耳を傾けておられました。時間が長引いてしまったため、肝心の意見交流会の時間を十

分にとれなかったことが惜しまれますが、参加団体の皆様から「次回も必ず出席します」というお声をいただき、今後予定している第2回、第3回へと弾みがつきました。活発な意見交流会となるよう、私たちもしっかりとしたテーマや課題を提供させていただきたいと思えます。

第2回は、9月18日（木）午後2時～4時に開催します。

参加団体

天の川を清流にする会
 エコ手づくりの会 楽々ひろば
 大阪府立枚方なぎさ高等学校
 関西電力(株) 守口営業所
 北大阪商工会議所
 京セラミタ(株) 枚方工場

尊延寺の自然を守る会
 ネットヨタ新大阪(株)
 枚方LRT推進会
 枚方市役所 環境保全部
 (有)花村産業

御殿山竹遊会
 全労済大阪府本部共済ショップ枚方
 NPO法人森林ボランティア竹取物語の会
 NPO法人エコ・スマイルひらかた

(順不同・敬称略)



環境に対する取り組みに参加させてもらうのは初めてで、いろいろな活動をされている方がいるのだと感心しました。

今後もこういう場を持っていただき、環境に対して皆で出来ることを話し合っていければよいと思いました。

今までは環境問題等の会議・研修は同じ様な業種での交流があったが、今回は様々な団体との交流で取り組み等を聞かせていただきよかったです。次回も必ず出席しますからよろしくをお願いします。

環境会議に出られてとてもうれしく思いました。ありがとうございます。

初回の会合であって発言少なくて申し訳ありませんでした。ボランティア活動を生かして温暖化防止に今後とも協力していきたいと思えます。里山の保全、更生も着実に成果をあげつつあります。志は高いものがありますが、ボランティア団体で一番苦慮するのは、どこでも資金源だと存じます。行政の一層のご協力をお願いいたします。

各種団体の状況が知り得て参考になった。しかし、実効を上げる手段について話し合える時間を多くしてほしい。

意見交流会にもっと時間があればよかった。

それぞれの今後の発展する交流会になりますように期待します。

枚方市を地元への愛の出発点になればいいですね。大阪府下の中ではイメージが余りよくないので環境都市として有名になればと思えます。ご苦労様！頑張ってください！

交流のテーマ・課題をもう少し明確にしてもらいたい。少し明確でない部分があるように見受けられます。

現場直接の時間を多くとるのが交流会

ライトダウン2時間で、電気の発電量は減るのですか。

他団体の環境の維持や改善に対する取り組みを聞いて有意義でした。意見交流会の時間が短かったことが残念でした。次回以降も身近で団体・個人が参加できるテーマの設定をお願いします。

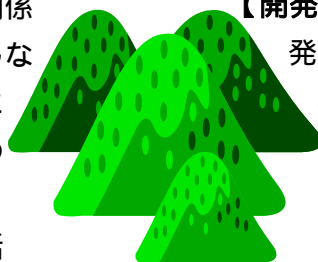
参加団体の声



北海道洞爺湖サミットって？

1975年にフランスで始まったサミット(当時は日、米、英、仏、独、伊の6カ国)は北海道洞爺湖で34回目を迎えます。日本では過去4回開催され、今回は5回目の議長国としてサミットを開催します。

国際化が進み、国同士の結びつきがどんどん強くなってきた結果、地球のどこかで起きたことが、国境を超えて様々な形で関係するようになってきました。そんな中、世界が直面する様々な課題について、主要な8つの国(当初の6カ国に加、露が加わる)のトップがひとつのテーブルを囲んで話し合い、文書をまとめることで、**“サミット”=「山の頂上」**(G8北海道洞爺湖サミットHPより)



より早く、確かに、世界の進むべき道を考えていこうというのがサミットの目的です。

北海道洞爺湖サミットの主要テーマ

【世界経済】金融市場の安定化や一次産品の価格高騰、インフレ懸念を含む諸問題

【環境・気候変動】地球環境問題で日本がイニシアティブ発揮。2013年以降次期枠組みに関する国連での議論を後押し。森林、生物多様性問題等

【開発・アフリカ】2015年までのミレニアム開発目標(MDGs)達成に向けたメッセージ。第4回アフリカ開発会議の成果を議論に反映。食料価格高騰問題

【政治問題】不拡散体制の強化。平和構築についてG8の取組強化

理事会・総会の報告

平成 20 年度第 1 回理事会

平成 20 年度第 1 回理事会を 5 月 9 日（金）午前 11 時から開催しました。理事 13 名（委任状出席含む）が出席、丸井晶子理事の成立宣言により開会されました。

議事は、谷崎利男理事長を議長とし、下記のすべての案件が原案どおり承認可決されました。

第 1 号議案「理事の選任に関する件」、第 2 号議案「運営委員任命の件」、第 3 号議案「規則改定の件」、第 4 号議案「会費改定の件」、第 5 号議案「事務局職員給与承認の件」、第 6 号議案「事務局職員賞与基礎支給率承認の件」、第 7 号議案「平成 19 年度事業報告書(案)承認の件」、第 8 号議案「平成 19 年度収支決算報告書(案)承認の件」、第 9 号議案「平成 20 年度事業計画書(案)承認の件」、第 10 号議案「平成 20 年度収支予算書(案)承認の件」

尚、運営委員は石川聡子、石原了、小篠和之、鍛冶谷知宏、鎌田徹、桜井正昭、末岡妙子、谷崎利男、富田藹、廣田武司、丸井晶子、山村隆男（計 12 名）、委員長は引き続き石原了が任命されました。



理事会に出席した役員

平成 20 年度通常総会

平成 20 年度通常総会を 6 月 1 日（日）午後 2 時からラポールひらかた 4 階大研修室で開催しました。会員数 170 名、出席者 98 名（委任状・議決権行使書出席含む）により、定足数を満たしていることが確認され、総会が成立しました。

石原了議長の進行により下記議案を審議し、すべての案件が原案どおり承認可決されました。

第 1 号議案「平成 19 年度事業報告案及び決算報告案の承認の件」、第 2 号議案「平成 20 年度事業計画案及び予算案の承認の件」、第 3 号議案「役員を選任の件」、第 4 号議案「会費改定の件」

理事 15 名 [任期：平成 20 年 6 月 1 日～平成 22 年度総会開催日]

石川聡子（市民 / 再任）、石原了（市民 / 再任）、伊丹均（枚方市環境保全部部長 / 再任）、井上祥子（国際ソロプチミスト枚方 - 中央 / 再任）、鍛冶谷知宏（市民 / 新任）、鎌田徹（市民 / 再任）、河瀬隆（大阪ガス株式会社北東部地区支配人 / 再任）、末岡妙子（市民 / 再任）、田中隆夫（北大阪商工会議所中小企業相談所所長 / 再任）、谷口淳二（関西電力株式会社枚方営業所所長 / 新任）、谷崎利男（市民 / 再任）、長島信一（(特活)ひらかた市民活動支援センター理事長 / 再任）、廣田武司（市民 / 再任）、山畠光久（(特活)森林ボランティア 竹取物語の会 / 新任）、丸井晶子（市民 / 再任）

監事 2 名 [任期：平成 20 年 6 月 1 日～平成 22 年度総会開催日]

稲田増光（市民 / 再任）、園田一博（枚方市環境総務課課長 / 新任）

会費改定について（平成 21 年度より）

会員に対するよりいっそうの情報提供（会報誌、HP 等）の充実実現

と、現状かかっている会員の方々の諸費用を考え、次の通り会費を改定しました。

正会員（年会費 1 口）…… 個人 3,000 円 非営利団体 3,000 円 営利団体 10,000 円

賛助会員（年会費 1 口）… 個人 3,000 円 非営利団体 3,000 円 営利団体 10,000 円



通常総会の様子

平成 20 年度第 2 回理事会

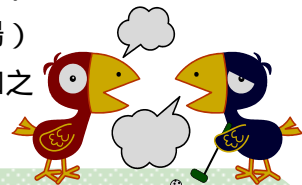
総会のあと新役員により、平成 20 年度第 2 回理事会を開催しました。理事長及び副理事長の選任に関して、以下の通り承認可決されました。

< 理事長 > 谷崎利男 < 副理事長 > 石原了、丸井晶子

みんなで考えよう！環境ディベート！

総会に引き続き、「みんなで考えよう！環境ディベート！」を開催しました。コーディネーター役を京都大学地球環境大学院 植田和弘教授（ひらかた環境ネットワーク会議顧問）にお願いし、「地球温暖化」「自然エネルギー」「リサイクル」の3テーマについて、各15分程度、議論しました。

論者は「地球温暖化」について、桜井正昭氏（人的由来の立場）と鎌田徹氏（自然現象由来の立場）、「自然エネルギー」について、前西厚臣氏（自然エネルギーを進める立場）と末岡妙子氏（省エネルギーを進める立場）、「リサイクル」について、小篠和之氏（リサイクル有効の立場）と鍛冶谷知宏氏（リサイクルは有効でない立場）。



地球温暖化

桜井) 実際暑くなっているのはマスメディアで見聞きし、我が身でも実感。IPCCでも人為的な影響が多いと発表されている。今できることを考えるとき“CO₂削減”がわかりやすい。海中のCO₂が爆発的に大気中にでたら間に合わない。

鎌田) 地球の歴史では今は氷河期の終わりであり、二酸化炭素排出量だけが原因ではない。自然由来であるという学者もたくさんいる。現実問題、CO₂排出量削減の目標達成は非常に難しい。

会場より) IPCCの発表をみると、数値化されており説得力がある。市民レベルの活動ではわかりやすさが一番、CO₂排出量削減は判りやすくてよい。

自然エネルギー

前西) まだまだ使える自然界のエネルギーがある。自然エネルギーを推進する人は省エネルギーにも関心がでてくる。

末岡) 自然エネルギーの導入以前に、まずは常に省エネルギーを考えることが重要。暑い中では暑い暮らし方をしようにする。

会場より) 自然エネルギー施設をつくることについて、自然環境が破壊されている例がある。リサイクルの観点からも最終処分に問題があるものの開発には問題がある。莫大なエネルギーが必要だが発電量は少ない。自然エネルギーを勉強することによってエネルギーを考えることはよい。

小篠) 身近でPC、アルミ缶がちり紙交換のように行われ始めた。国としてもリサイクルを推進している。廃品回収も経済的に有効。ゼロミッションの考えから全てを循環させるにはリサイクルしかないのでは。

鍛冶谷) リサイクルの効果？本当にリサイクルされているか判らない。市民に対して洗ったりつぶしたり負担を課している。ルートも廃品回収と法的な回収の2つあり、リサイクルの効果がみえない。ゴミを出さないことを考えていかなければならない。

会場より) もったいないの精神で考えればリサイクルの可能性がたくさん出てくる。デポジットによってリサイクルはより透明化されて推進できる。

リサイクル

会場から（60代男性）

各々のテーマについて、賛成派・反対派がそれぞれ意見（理由）を述べる方式は、環境問題を掘り下げるのにつけてつけの方式だと改めて知りました。ディベートは「ある問題について肯定・否定の二組に分かれて議論を戦わせる」との認識はありましたが、環境問題にこれほど効果を発揮するとは思ってもよらないことです。たとえば「設備の老朽化の処理エネルギーはどうするのか」、「リサイクルでも回収古紙などは中国にそのまま輸出されている」等々、対立意見を出し合うことにより新しい問題点を浮かび上がらせることができたと思います。コーディネーター植田氏のお話にあったように、環境を良くしたいと思えばまず学ぶ（識る） どう行動したらよいかを（考える）そしてまた本当に良いことなのかという（疑問をもつ）最後に良いことをしているという確信をもつ。これらの考える、知る、行動することを始めるところが「ひらかた環境ネットワーク会議」であることを改めて感じさせられる大変意義のある1日でした。

●部会の活動



公共交通部会

平成 20 年 10 月 25 日(土)バス!のってスタンプラリー ~枚方東部・穂

谷を満喫~:コスモス畑や美しく整備された棚田、サツマイモの収穫、秋の穂谷は魅力がいっぱい!ただいまイベント内容を企画中です。

樟葉駅前広場利活用:京阪樟葉駅前、美しいまちなみや充実した商業が提供され、マイカーに依存しなくても、鉄道やバス、自転車、徒歩など環境にやさしい多様な交通手段により買い物などが楽しめる大都市郊外のモデルとも言える「環境にやさしいまち」「人にやさしいまち」です。「市民みんなで樟葉駅前を面白くするには」どうしたらよいかみんなで考えるための樟葉駅前広場利活用ワークショップを開催します。それに先立って、交通と賑わい調査を実施しました。

レンタサイクル:牧野駅におけるレンタサイクルは、課題を整理し、シルバー人材センターが本格実施する方向で進んでいます。

地産地消プロジェクト

穀雨



ひらかた自然農法塾盛況に開催中:

「ひらかた地産地消プロジェクト」の一環として、無農薬有機栽培を目指す栽培者へその栽培技術・ノウハウを土づくりから収穫まで指導する「ひらかた自然農法塾」は今年3年目に入り、メンバーも18名に増え楽しく活動を続けています。

中核になる専業農家上武さんは、すでにレストランや定期販売所とも契約ができ、順調に無農薬有機栽培農業を発展させています。家庭菜園から出発したメンバーも数名の方が出荷販売レベルの野菜の収穫に成功し、一部注文販売を始めました。生ゴミ堆肥化グループも家庭生ゴミ・学校給食残渣・ホースセラピーの馬糞などを堆肥にする技術を確立しました。今後は更なるエリアの拡大を模索していきます。

自然塾に興味のある方、無農薬有機栽培野菜を手に入れたい方(事業系はご遠慮ください)は、事務局までご連絡ください。

ライトダウンキャンペーン



キャンペーン実施中:6月21日(土・夏至の日)~7月7日(月・洞爺湖サミット初日)、ライトダウンキャンペーンを実施中です。特に6月21日と7月7日の2日間、午後8時~10時は一斉消灯が呼びかけられています。一斉消灯両日(6/21,7/7)の全国の参加施設は73,945箇所(両日の参加施設の重複を除く)、削減消費電力量は2,199,158.70kWh(『環のくらし』への申告による(7/1現在))。枚方でも毎年少しずつ参加協力が手を上げてくださる方が増えてきました。来年は、市民・事業者・行政で力を合わせて皆で楽しみながら参加できるような、枚方独自のライトダウンキャンペーンにしたいですね。

参加協力者数・参加協力団体:会報誌「環境ひらかた10月号」、ひらかた環境ネットワーク会議HPで発表します。ご協力ありがとうございます!!

イベント&募集 お知らせ コーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。
072・847・2286

ひらかた環境ネットワーク会議「説明会」

新会員の方および、ひらかた環境ネットワーク会議の活動にご興味を持ってくださっている一般の方を対象に、当団体の説明会を行います。

これから一緒に活動していく
上での顔合わせのつもりで、
お気軽にお越しください。



日時：7月24日(木) 午前11時～
場所：サブリ村野3階事務局

ネットワーク会議の会員を募集しています

「ひらかた環境ネットワーク会議」に参加し、活動を支える会員を、市民(個人、団体、サークル、NPO)、事業者から広く募集しています。

入会を希望される方は、電話・FAX、Eメールで、事務局までお申込みください。

「環境のへえ～」 Vol.16

『シブカサ』

梅雨のこの時期、傘は手放せません。いや、持ってなくてビニール傘のお世話になることも…雨天けっこう。シブカサははじめました。

<http://www.shibukasa.com/>

まだまだ使えるのに放置されたり忘れ物にされて処分されそうになってしまう渋谷のビニール傘たちを回収し、ちょっとオシャレにデザインして再び渋谷の街に無料レンタル傘として貸し出すプロジェクトです。

雨が降ったら、傘を買わずに提携店でシブカサを借り、雨がやんだら提携店に返却してリユース。さらに大切に使いつづけます。シブカサを提携店に返すことによって50円相当のアースデイマネー(渋谷で使えるクーポン券)がもらえます。

日本の傘の消費量は、年間1億3000万本。世界ナンバーワンで、年間1人1本購入していることに。そして、雨の日にはあちこちに傘の忘れ物。ひと雨500本？

というわけで、SHIBU KASA マークの傘に注目。東京渋谷での無料の傘のレンタルサービス、なかなか興味深いです。渋谷に限らず、全国に広がっていくと面白いかもしれませんね～。

< 30秒で読む環境情報! >



イベントのお知らせ

夏休み親子エコクッキングウ～!

和風ご飯ピザ、豚汁、いろいろチョコバー

日時：午前10時～午後1時
場所：枚方市民会館1階 料理室
参加者：小・中学生とその保護者
参加人数：約25名

**7/24
(木)**

只今、お手伝いしてくださる方を募集中!!
詳しくは、ひらかたネットワーク会議事務局までお問合せください。

平成20年度映画上映会



上映会場(共通)：枚方市民会館大ホール

【アース】
日時：7月31日(木) 10:30～、14:30～、19:00～
<チケット販売> 枚方市民会館、市民ふれあいセンター、各生涯学習市民センター、枚方公園青少年センター
【地球交響曲第1番】
日時：11月6日(木) 13:30～、19:00～
<チケット販売> ひらかた環境ネットワーク会議事務局までお問合せください。

会員数 205名：正会員 171名(個人 142、非営利団体 17、営利団体 12)
賛助会員 34名(個人 34、非営利団体 0、営利団体 0) 平成20年6月30日現在

団体紹介 コーナー

京セラミタ(株) 枚方工場

設立：1964年
工場社員数：368名 工場長：角田 安司



工場全景

環境への取組みと近隣地域社会との係りを推進

私たち、京セラミタ(株)枚方工場は京セラグループの一員として情報関連機器（複写機、プリンタ）の製造を担当しております。当工場は、地球環境にやさしい物づくりをモットーとして、自然環境への影響を十分に配慮し、地球環境保護を推進します。

1. 環境負荷低減への取組み

産業廃棄物（廃棄トナー）のマテリアルリサイクルにより、再資源化に努めています。トナー排水処理システムの導入によりトナー排水を濃縮分離処理し、産廃量の削減と水の再利用に努めています。



マテリアルリサイクルのベンチ



トナー排水処理システム

2. CO₂削減への取組み

太陽光発電システムを採用し、物流倉庫壁面にソーラーパネルを設置しました。これにより、最大60kwの発電を行い、工場の動力・照明に充てています。

アドプトプログラムによる清掃活動の実施



3. 地域とのふれあい

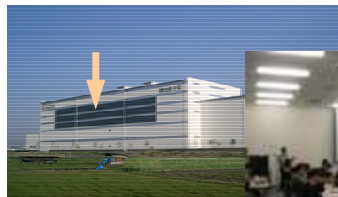
社会環境報告会を毎年開催し、地域・行政・取引先の方々を当工場に招待し、工場としての社会環境への取組を説明し、ご意見を伺い、今後の取組の参考とさせていただいています。又、毎月、工場周辺の清掃活動（アドプトプログラムへの参加）も行っています。



角田工場長

<工場長より>

京セラミタ(株)枚方工場は社会的責任ある企業として、コミュニケーションを大切にし、地域社会から成長発展を望まれる企業として、その役割を果たしていきます。



物流倉庫壁面のソーラーパネル



社会環境報告会の開催

編集後記

温暖化の解決法を考えました。石油価格は、今異常な高騰を続けています。この高騰を利用するのは、チャンスです。石油の高騰が続き今の3倍・5倍になれば、交通機関の料金は大幅なアップとなり、特殊な場合以外は利用不可能でしょう。電気・ガス料金も大幅にアップするでしょう。暖房も冷房も今のようにできません。止めるか必要最低限に使用を抑えざるを得ません。そうすれば石油の使用量は大いに減少し、温暖化もストップ。但し、経済問題、便利で快適な生活、そんなものは知りません。こんなバカのこと考える今日この頃です。（廣田 記）

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第18号

平成20年7月1日発行（年4回発行）

発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議
〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サブリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-847-2286

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyuu.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyuu.net>

発行責任者：谷崎 利男

編集責任者：廣田 武司

この会報誌は古紙再生紙・ソイインクを使用しています。